

第 14 回 沖縄科学技術大学院大学学園の今後の諸課題に関する検討会 議事要旨

1. 日時：平成 30 年 6 月 11 日（月）10:00～12:00

2. 場所：中央合同庁舎 8 号館 8 階 特別大会議室

3. 出席者

（1）構成員

相澤委員、岡崎委員、長我部委員、瀧澤委員、西澤委員、宮浦委員、山本委員

（2）内閣府

北村沖縄振興局長、水野総務課長、水本次長、重永企画官

（3）OIST（オアシス）

バックマン首席副学長、吉尾 COO

4. 議事要旨

議事 1 座長の選出について（資料 1）

委員互選により、相澤委員が座長に選出

議事 2 座長代理の指名について（資料 1）

座長指名により、西澤委員が座長代理に指名

議事 3 検討会運営要領の改正について（資料 2-1、2-2）

これまで、「非公開」で実施してきたものを「公開」で実施することについて特段の意見なく了承

議事 4 平成 29 年度事業報告について（資料 3-1、3-2）

吉尾 COO より資料について説明がされた後、委員から主に以下のような意見があった。
○OIST の組織体制と、事業報告をまとめるに当たっての評価の体系をきちんと対応する形で示してほしい。

○OIST は何を大きな戦略の柱としているのか、そのことにどういった計画を立て、結果、どういった実績が得られたのか、というステップを解りやすく説明いただきたい。

議事5 10年後見直しに係る検討の進め方について（資料4-1、4-2、4-3）

事務局より資料について説明がされた後、委員から主に以下のような意見があった。

○10年後見直しに向けて、中期目標がどのように設定されているかよくわからない。こういう数値目標に比べて、今、どのあたりだという話が伺える機会があると理解しやすい。

○学園法に基づく2つの目的（先端研究と沖縄振興）の両立は難しい。これから数年かけることもあり、また、法律の改正も想定しうることから、しっかりとベースから議論することが重要。

○OISTには世界トップクラスの研究業績と沖縄の経済振興への実績を上げていただきたい。ガバナンスについては、グローバルな視点から見ても恥ずかしくないガバナンスをきちんとやってほしい。すぐにできなくとも、こういう方法で行ったら出来るのはないか、ということを我々が提言して、内閣府がバックアップしていくことによって、日本の大学に対しても一つのモデルになっていただきたい。

○研究・教育に関して、検討会が全部を評価するというのは大変難しい。この検討会としては、OISTの自己評価を出していただいて、それが適切かどうかという立場で検討をするべき。

以上